

令和元年度第1回甲府市地域公共交通活性化協議会（会議要旨）

【議長（会長）】

- ・審議事項について、事務局に説明を求めます。

【事務局】

- ・甲府市地域公共交通網形成計画の目標達成のための施策の進捗状況について（基本方針1（施策1～施策10）関係）

【議長（会長）】

- ・ただいまの説明について、ご意見・ご質問はございますか。

【委員】

- ・施策2が気になっています。富士急バス（株）が現状1日3往復で、玉諸小学校から甲府駅までの間を運行していることは承知していますが、これは通勤に使える訳でもなく、日中走っているだけのバスで、非常に使い勝手が悪いと思っています。本日の話の中で、今後5往復に増やすということですが、どのような時間帯になるのか気になります。
- ・また、施策1の令和元年度の取り組みの中で行った住民説明会ですが、非常に出席者が少ないと感じています。公共交通が重要と言われている中、出席率が低いといった状況なので、もう少し地区の皆様方にご理解いただくために、出席率が上がるような取り組みをしていただければと思います。

【事務局】

- ・まず、増便についてですが、甲府駅から富士山駅を結ぶ便が、上阿原車庫から回送便が1日に数便運転されているということで、これを実車化することによって沿線住民の皆様のご生活の足に、特に通勤・通学の足を確保できないかと、富士急バスさんと相談する中で進めてきたところでございます。予定の運行時間帯につきましては、上阿原車庫を出発する便で朝7時台に2本、夕方に甲府駅発で午後6時台に1本、午後7時台に1本となり、現在3往復運転しておりますので、それを加えますと1日5往復ということをご予定しております。ただ、市民の皆様にご利用いただくことが前提となりますので、利用促進の取り組みを住民の皆様と共に進めて参りたいと思っております。
- ・また、住民説明会に出席した方が少ないのではないかと指摘につきまして、まさにその通りであると認識をしております。私共の周知不足もございまして、結果として228名という出席に留まった訳でございますが、玉諸地区を含む東部ブロックにつきましては、91名という東公民館大ホールの定員ギリギリのご出席をいただき、大変ありがたく思っております。今後、特に幹線・支線バス網、それから地区地域内交通など、交通弱者のご生活の足の確保なども重要になってくると思っておりますので、住民の皆様にご丁寧にご説明をする機会を積極

的に設けていきたいと思っております。その際には、周知活動につきましても積極的に行っていきたいと思っております。

【議長（会長）】

- ・出席率は非常に低いといった点ですが、公共交通に関心を持った方から考えると、もう少し出席率は高いかと思われれます。来年度以降ご検討いただきたいと思えます。
- ・それでは、進行を進めさせていただきたいと思えます。

【事務局】

- ・甲府市地域公共交通網形成計画の目標達成のための施策の進捗状況について（基本方針2（施策11～施策19）関係）

【議長（会長）】

- ・ただいまの説明について、ご意見・ご質問はございますか。

【委員】

- ・サイクル・アンド・ライドの利用促進について、利用状況のデータなどはお持ちでしょうか。利用状況を教えていただければと思えます。
- ・また、施策12のタクシー事業者と連携等をした導入を検討した結果、見送ると述べられましたが、簡単で結構ですので理由等を教えていただけたらと思えます。

【事務局】

- ・まず、サイクル・アンド・ライドのこれまでの実績でございますが、昨年7月に民間の商業施設等を含む3か所で駐輪場の拡大をさせていただきまして、サイクル・アンド・ライド駐輪施設の沿線自治会には周知チラシの配布をさせていただきました。これまでの利用実績につきましては、延べ7名にご利用いただいている状況で、3か所駐輪場の拡大した以降は新たな申し込みはいただけない状況でございます。これは私どもの周知不足でございます。サイクル・アンド・ライドは、現在策定中の立地適正化計画において位置付けた施策の1つとなっておりますので、立地適正化計画とも連携を図るとともに、広報誌やチラシの配布などを通じまして、制度の拡大に努めて参りたいと思えます。
- ・また、タクシーの活用で事業化を見送った理由ですが、まずタクシーの活用事業の具体的なものとしては、旅行会社JTBさんが運用しております、ジェロンタクシーという仕組みとなります。事業概要としては、タクシーの定期券を購入し、期間内は自由に乗降できるといった仕組みであり、福岡市さんや、諏訪地区タクシー事業協同組合さんが実証実験を行った経過がございます。見送った理由としては、これまでに本市と同様の規模にある自治体での成功事例が見当たらないということもございまして、最大の要因はやはり財政的な問題がご

ざいます。現状これだけに財政的に投資をすることが難しいという面もあり、今後としては様々な仕組みを調査・研究した上で、本市に適したタクシーを活用した制度を導入する必要があるのではないかと考えています。

【議長（会長）】

- ・ サイクル・アンド・ライドについては、あまり利用が伸びない理由も含めて今後の進め方をご検討いただけたらと思います。
- ・ それでは、進行を進めさせていただきたいと思います。

【事務局】

- ・ 甲府市地域公共交通網形成計画の目標達成のための施策の進捗状況について（基本方針3（施策20～施策23）関係）

【議長（会長）】

- ・ ただいまの説明について、ご意見・ご質問はございますか。

【議長（会長）】

- ・ ないようであれば、述べさせていただきませんが、委員の皆さまには、非常に多くの事業の展開をされているということをご理解いただけたかと思います。いくつか十分な措置がなされていない施策もございましたので、今後は措置できていない箇所を充足しつつ、施策を進めていただければと思います。
- ・ また、進捗管理を行っていくにあたり、事務局には、実際どういった施策があり、実際にどのような効果があったかということを検証していただいて、来年度以降どう改善していくか等をご検討していただきたいと思います。
- ・ 何かご意見・ご質問はございますか。

【委員】

- ・ 基本方針1の施策10についてですが、これは4市1町で取り組んでいる事業でございまして、河口湖に行っている外国人観光客をなんとか国中の方へ連れてこられるような施策として、国に事業の採択を申し込みましたが、結局採択されませんでした。今後は、富士急バス（株）さんと話し合う中で、令和2年度に、路線バスに対して付加価値をつけ、外国人観光客を国中の方へ連れてくる施策に取り組んでいきたいと考えております。詳細は今から富士急バス（株）さんと詰めていきますが、そのような予定であることを報告します。

【議長（会長）】

- ・ ご報告、ありがとうございました。
- ・ 公共交通というのは、観光や経済活動等にとっても非常に重要な施策であり、是非取り組んでいただきたいと思います。
- ・ その他、いかがでしょうか。

【委員】

- ・ 利用促進と直接関係があるか分かりませんが、先日テレビでコンパクトシテ

ィに関わる計画制度（立地適正化計画）が甲府市でまとまったという報道がありました。当該計画は 2024 年までとなっています。今後、甲府市が都市のコンパクト化を目指していくことになれば、基本方針 1 を中心に影響が出てくるのではないかと感じております。今すぐにではありませんが、立地適正化計画との整合性をどこかの時期に擦り合わせなければならないと思っておりますが、その点はいかがでしょうか。

【事務局】

- ・本市で現在策定中の立地適正化計画との擦り合わせについて、地域公共交通網形成計画に掲げた、幹線バス網・支線バス網、さらに細かな対応するための地区地域内交通の運行区域といったところで、立地適正化計画に位置付けた都市計画区域内若しくは居住誘導区域などとの整合性を令和 2 年度以降に充分図ることが必要であると考えています。
- ・立地適正化計画は長期的な視点での計画と認識しておりますので、10 年や 20 年といった長い間隔の中で、リニア中央新幹線の開業などの一連の流れもしっかりと整合性を図る中で、地域公共交通分野の究極の目標である、持続的な公共交通ネットワークの形成を進めていきたいと思っております。

【議長（会長）】

- ・立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の間で、情報共有等を進めていただき、両方の計画にプラスになるように進めていただければと思います。
- ・公共交通は毎年利用状況などを把握できるものであり、立地適正化計画との整合性を図るのが難しい面もあるかもしれませんが、長期的な目標を見据えながら、毎年どうやって改善していくか検討し対応していただけたら良いものになると思います。
- ・その他、いかがでしょうか。

【委員】

- ・思いつきで申し訳ないですが、施策 7（IC カード利用相談会）に関し、現在山梨大学の構内放送にバスの接近情報などを放映できるよう検討している中、学生に IC カードの利用促進するため、IC カードの利用促進に関するコンテンツを差し込んで良いかなと思いました。交通事業者さん等が所持しているもので活用できる PR コンテンツがありましたら、ご連絡いただければと思います。

【事務局】

- ・ご提案、ありがとうございます。
- ・学生は、一般的に自家用車を持っていないので、交通弱者のカテゴリーになると思います。今回県立大学さんと連携して路線バスの普及促進に向けた施策を取り組みましたが、今後は山梨大学さんとも協力していきたいと思っていま

す。特に、山梨大学さんにおきましては100円区間ということになっておりますので、構内モニターを使わせていただければ、我々としても積極的にやらせていただきたいと思います。昨年度、乗り方動画も作成しておりますので、そちらをご活用いただければと思います。

【議長（会長）】

- ・先ほど事務局から説明がありましたバス縁地内にもモニターがあると、中で待ってもらう際にちょうど良いのかなと思います。私も毎日のように路線バス・鉄道を利用しており、帰る際にやまなしバスコンシェルジュを見て、路線バスが接近したらバス停に出ていくといったことをしています。路線バスの接近情報が見えることは非常に大切だと実感しております。今ご提案いただいたことが実現可能であればご検討ください。
- ・以上をもちまして、審議事項を終了いたします。

以 上